

平成24年10月

平成24年	7月	～	9月期	実績
平成24年	10月	～	12月期	見通し

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

# 目次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23

## [集計資料]

本調査結果について、東日本大震災の津波で壊滅的に被害のあった4商工会地区(陸前高田、大槌、山田町、野田村)の状況は、調査不能のため含まれておりませんので、予めご了解のうえ、ご覧下さい。

## D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いたものです。

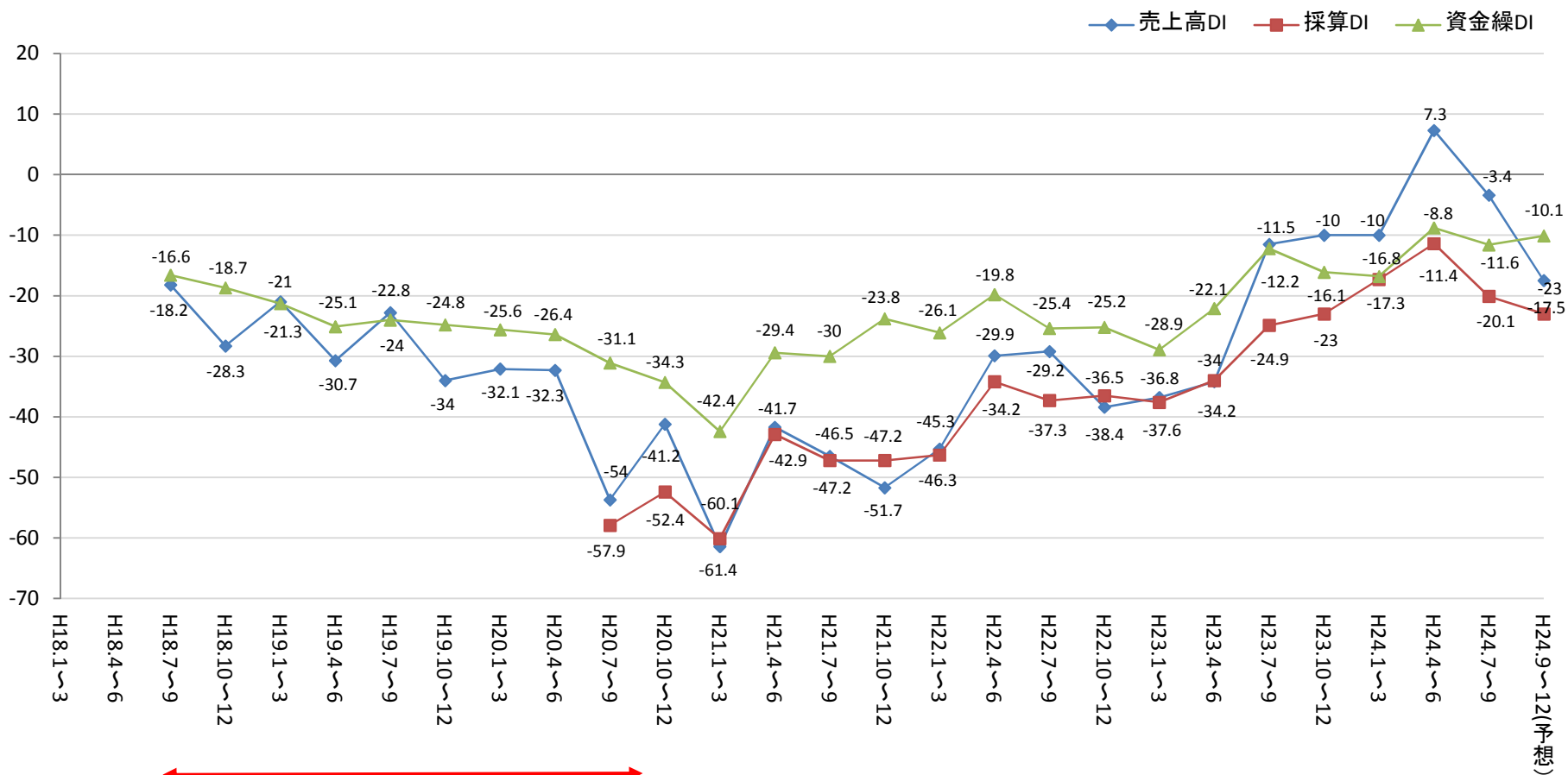
D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[ 岩手県 産業全体 ]






### 主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

# 業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成22年	平成23年				平成24年			(見通し)
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	平成24年 10~12月
製 造 業	 曇	 曇	 薄曇	 薄曇	 薄曇	 薄曇	 曇	 曇	 曇
建 設 業	 曇	 雨	 曇	 薄曇	 晴	 晴	 晴	 薄曇	 薄曇
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 薄曇	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 曇	 雨	 曇	 薄曇	 曇	 晴	 薄曇	 薄曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

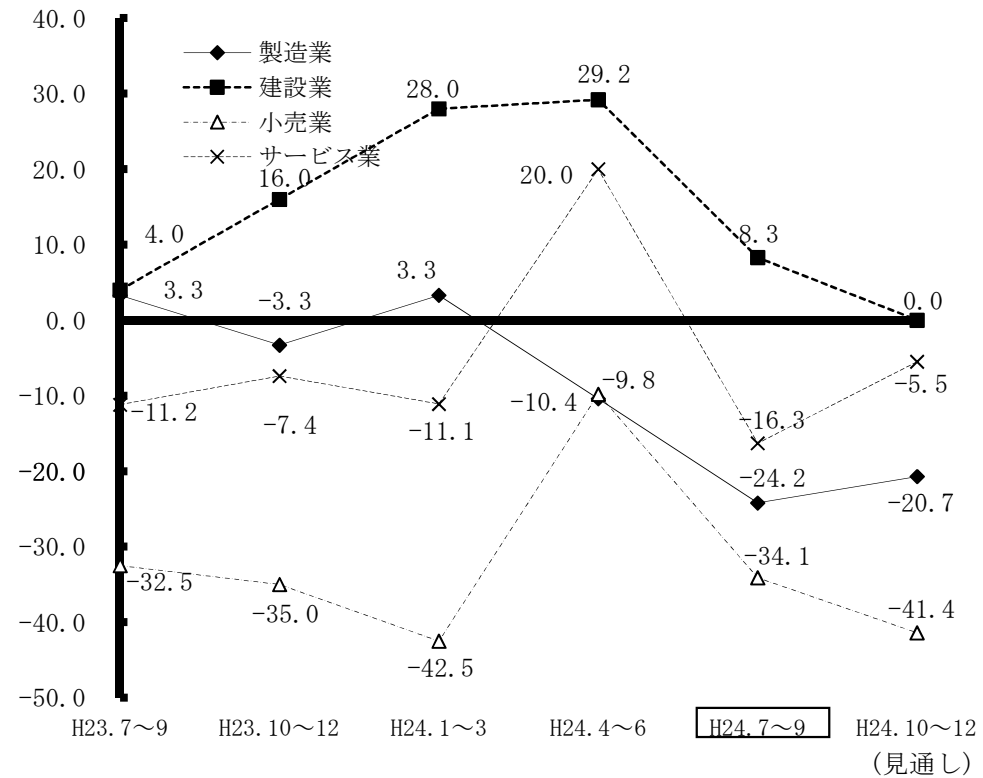
# 全産業の推移

## 売上高

今期は、建設業が5期連続してプラス幅を維持し、8.3となりましたが、過去最も高い水準を示した前期からは、大きく低下しました。

また、他の業種でも大幅な低下が、サービス業は36.3ポイント低下の△16.3となり、再びマイナス水準に転じています。

来期は、建設業及び小売業において、引き続きポイントの低下が予想されていますが、サービス業及び製造業においては回復する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

# 全産業の推移

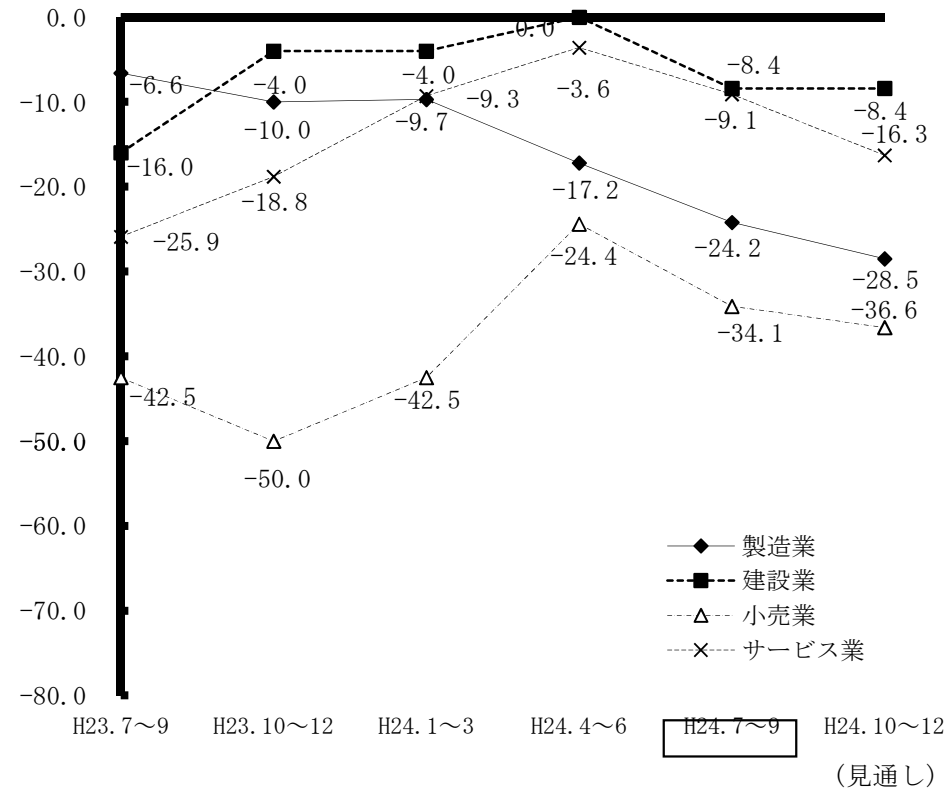
## 採算

今期は、建設業において、△8.4となり、再びマイナス水準に転じております。また、製造業、小売業、サービス業の3業種では、マイナス幅が拡大する結果となりました。

前回大幅な改善が見られた小売業では9.7ポイント低下の△34.1となりました。

来期は、建設業では横ばいが予想されるものの、他の3業種においては低下が見込まれる見通しです。

※採算は各業種とも経常利益

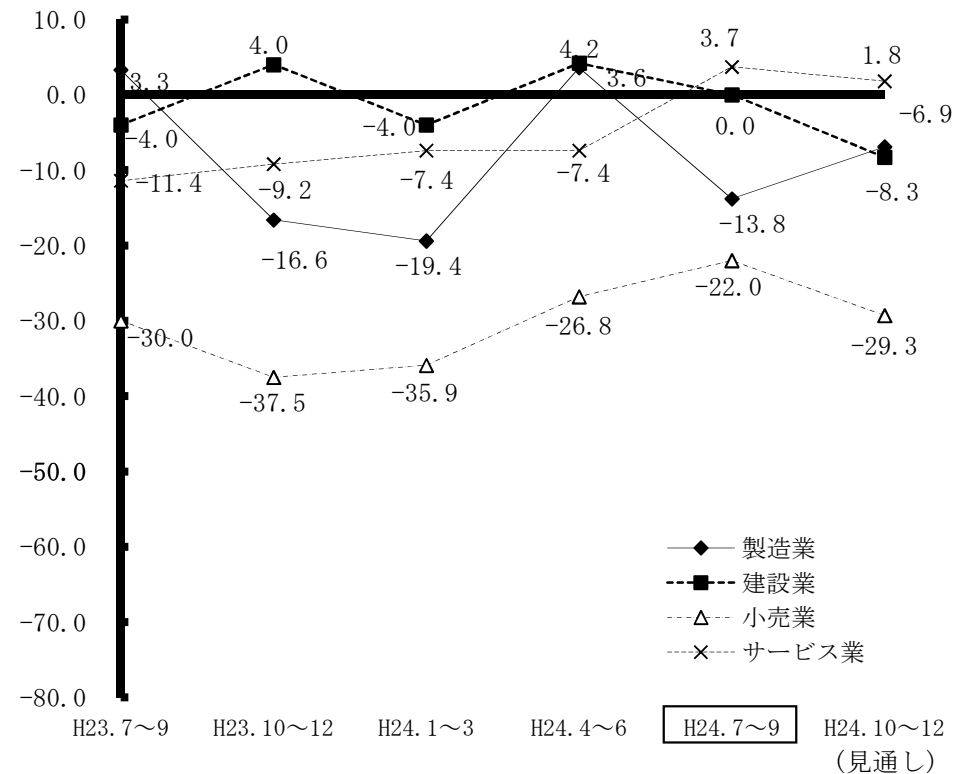


# 全産業の推移

## 資金繰り

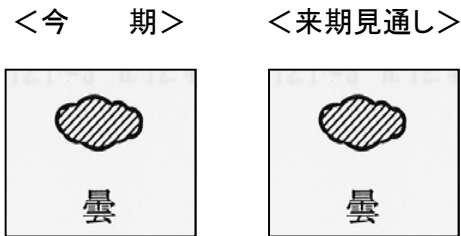
今期は、サービス業・小売業の2業種においては資金繰りが好転しましたが、製造業、建設業では再びマイナスに低下しました。

来期は、製造業において5.5ポイントの上昇が予想されるものの、他の3業種では低下して、依然資金繰りD・Iは全業種が再びマイナス水準にとどまる見通しです。



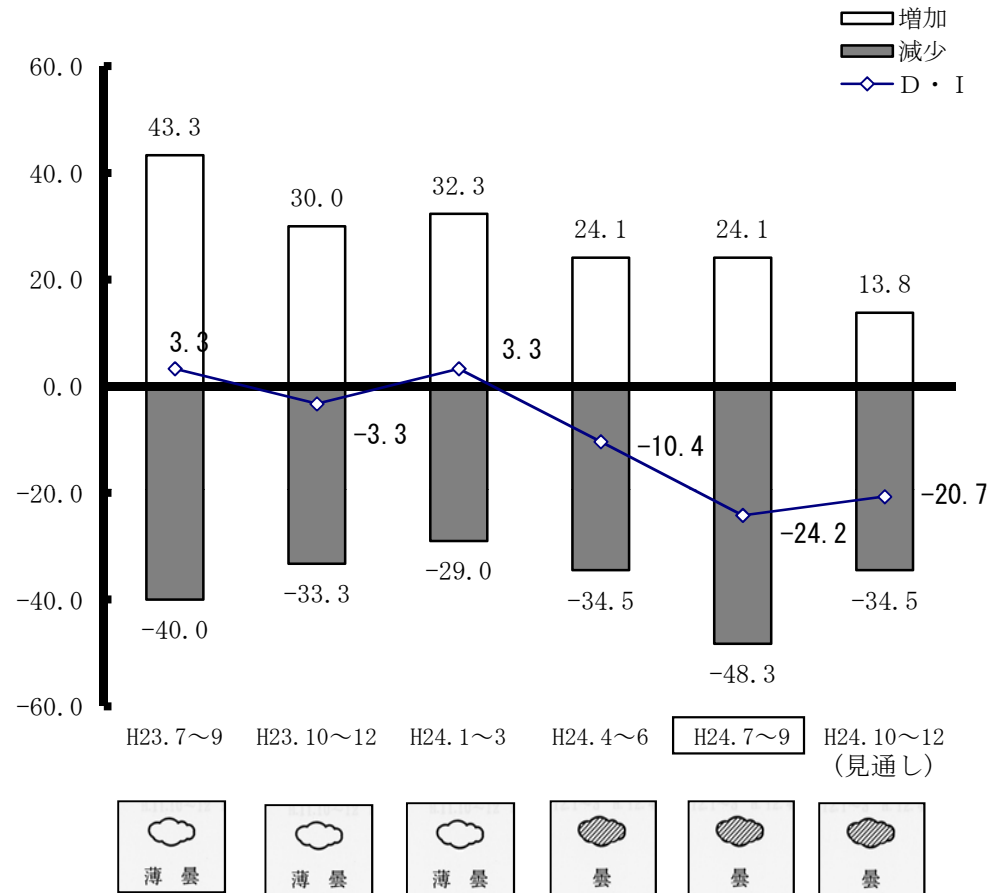
# 製造業の推移

## 売上高



今期は、減少企業割合の上昇と増加企業割合の増加により、売上高D・Iは13.4ポイントの大幅な低下となり、△24.2となりました。

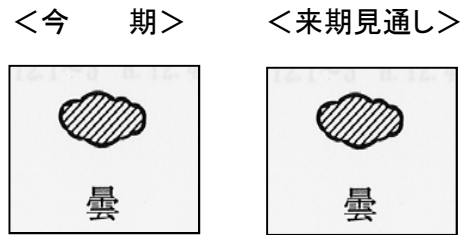
来期は、売上高の増減少を予想する企業は低下するものの、減少を予想する企業の割合が改善することから、売上高D・Iはマイナス幅を下げ、△20.7と予想されています。





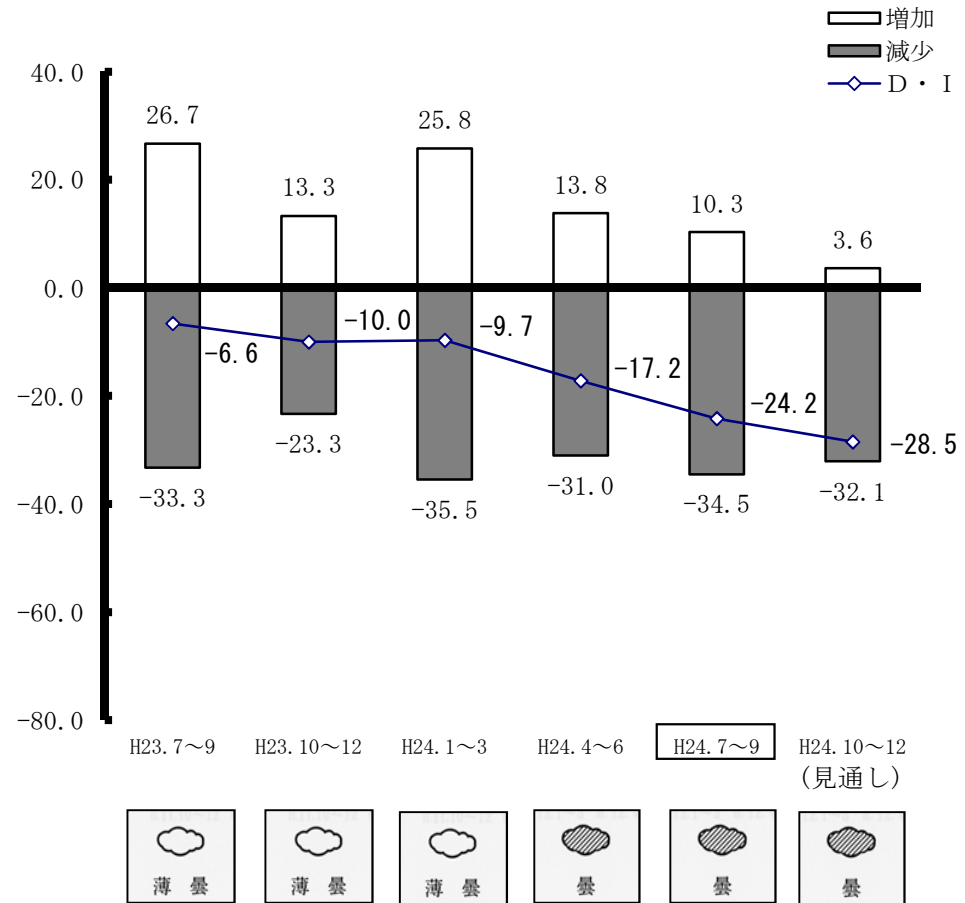
# 製造業の推移

## 採算



今期は、前期に比べ売上高の減少を挙げた企業の割合が増加したことによって、採算D・Iは低下し、△24.2となりました。

来期は、採算の好転を予想する企業が更に減少することから、採算D・Iは前期に引き続いて低下し、△28.5となり、直近6期では最悪となる見通しです。

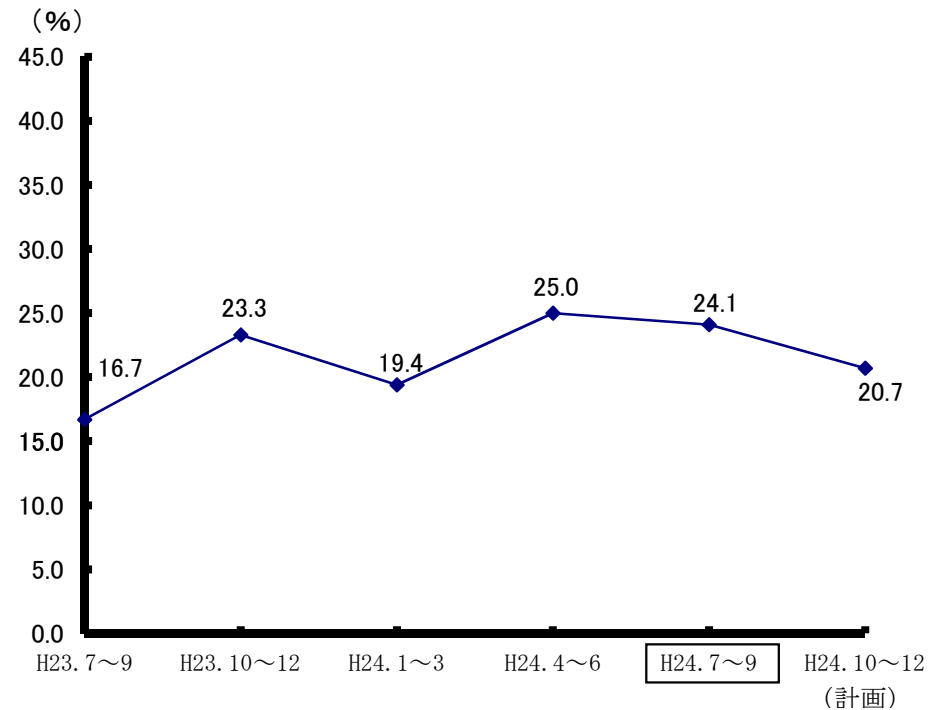


## 設備投資

前期見通しでは、設備投資を行う企業は減少し、22.2%と予想しておりましたが、実際は24.1%の企業において設備投資が実施されました。

来期は、設備投資を計画している企業の割合は更に減少し、20.7%の企業で設備投資が行われる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



## 経営上の問題点

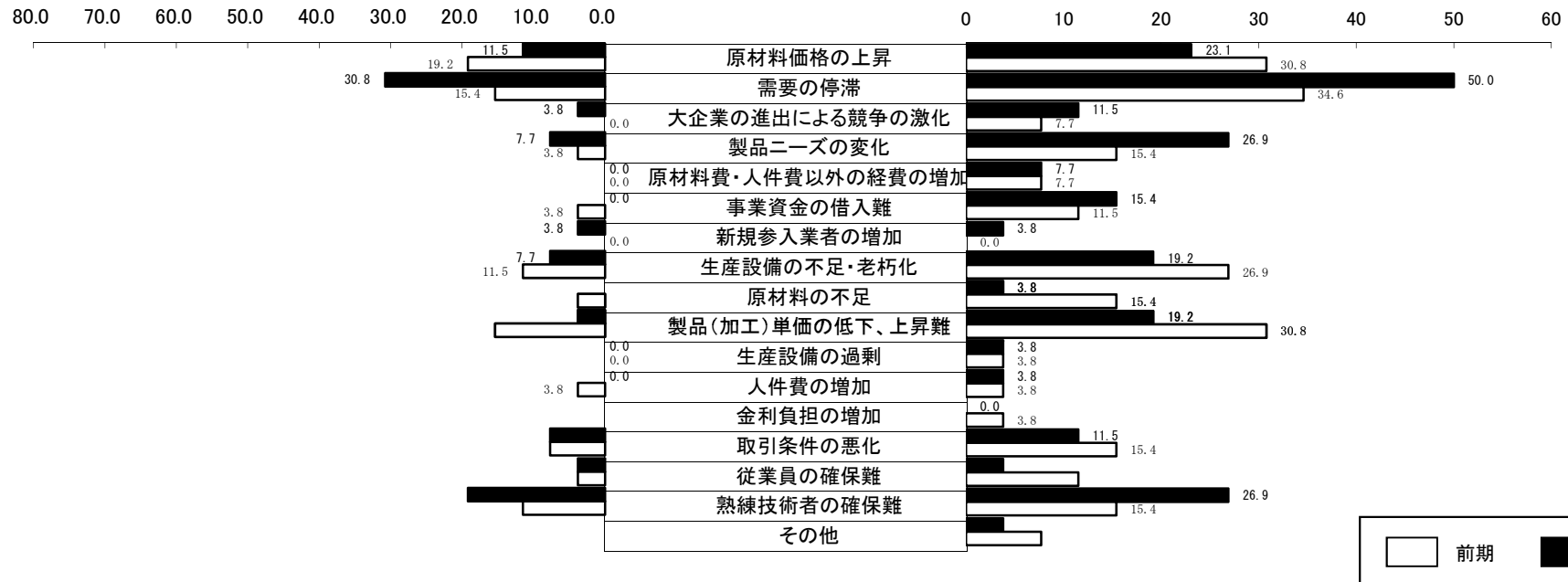
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

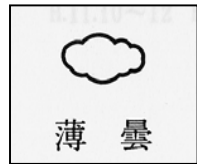
(目盛: %)



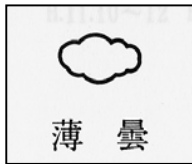
# 建設業の推移

## 売上高

<今 期>

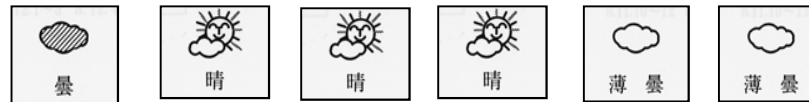
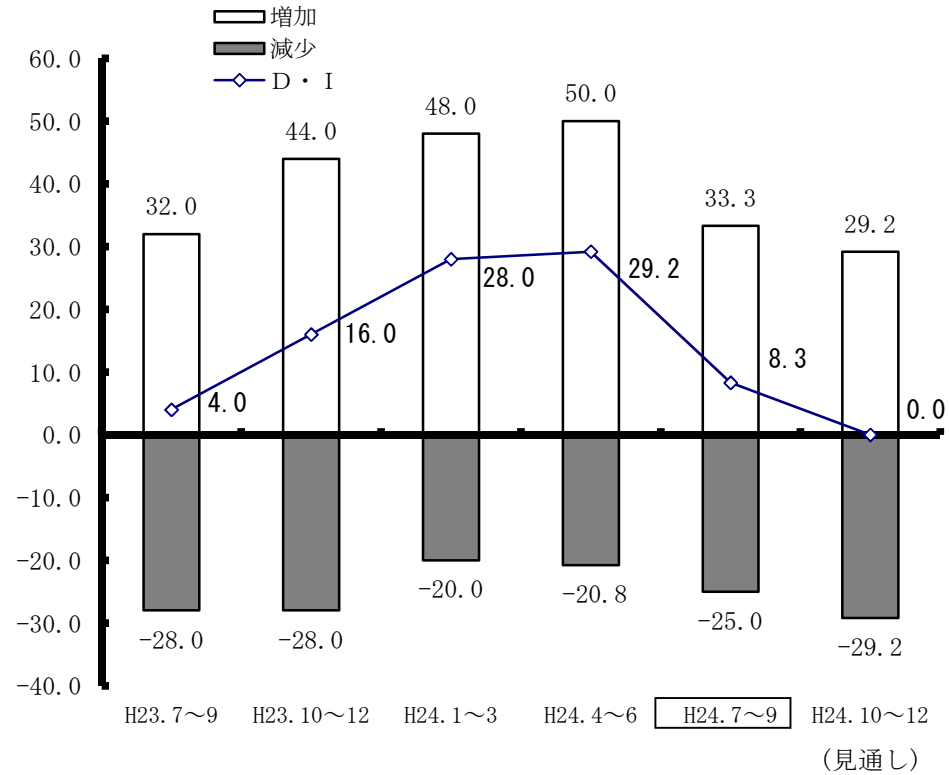


<来期見通し>



今期は、建設業が5期連続して上昇した売上高D・Iは、8.3とプラス幅を維持しましたが、過去最も高い水準を示した前期からは、大きく低下しました

来期は、売上高増加を予想する企業割合とともに、売上高減少を予想する企業割合の低下により、売上高D・Iは更に低下する見通しです。

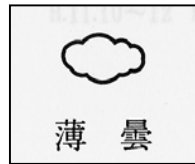


※建設業の売上高は完成工事高

# 建設業の推移

## 採算

<今 期>

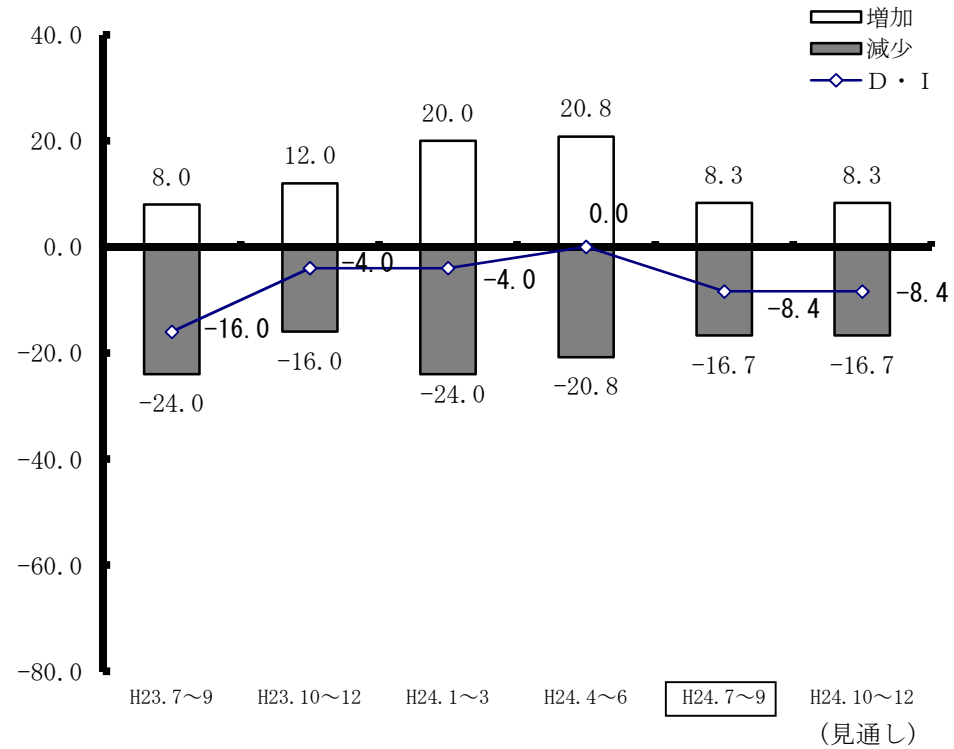


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算悪化企業の減少が小幅にとどまったものの、採算好転企業が減少したため、△8.4となりました。

来期は、採算は好転を予想する企業及び採算が悪化すると予想する企業ともに、同水準を維持する見通しです。

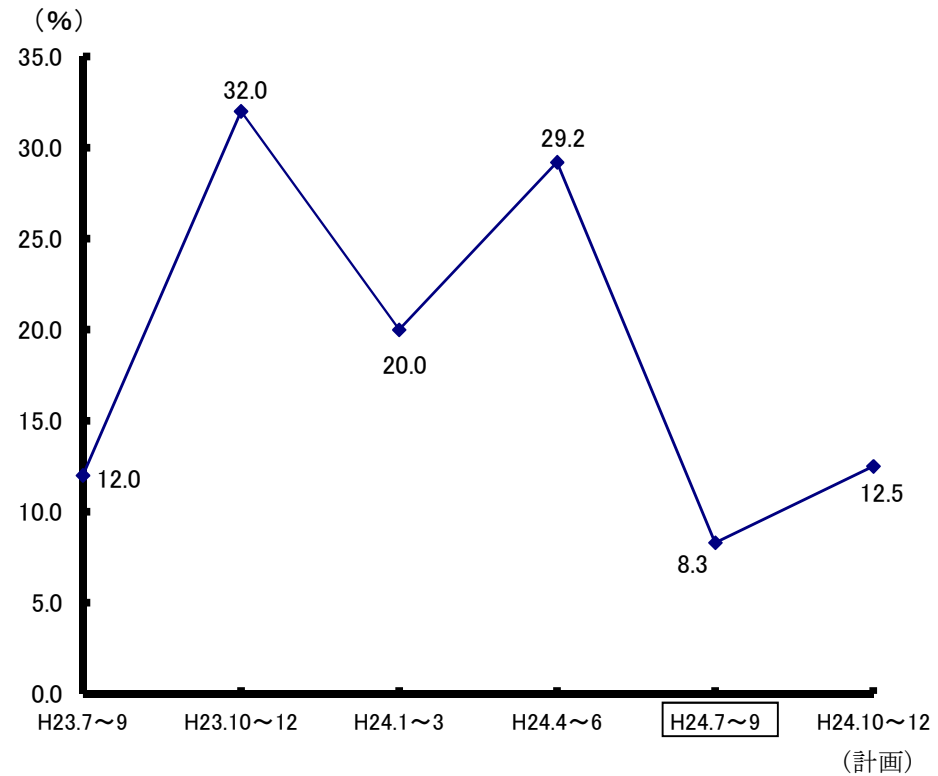


## 設備投資

前期見通しでは、設備投資を実施する企業は12.5%まで低下すると予想されていましたが、実際は更に、8.3%の低水準で推移しました。

来期は、設備投資を予定する企業は上昇に転じ、12.5%まで回復する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

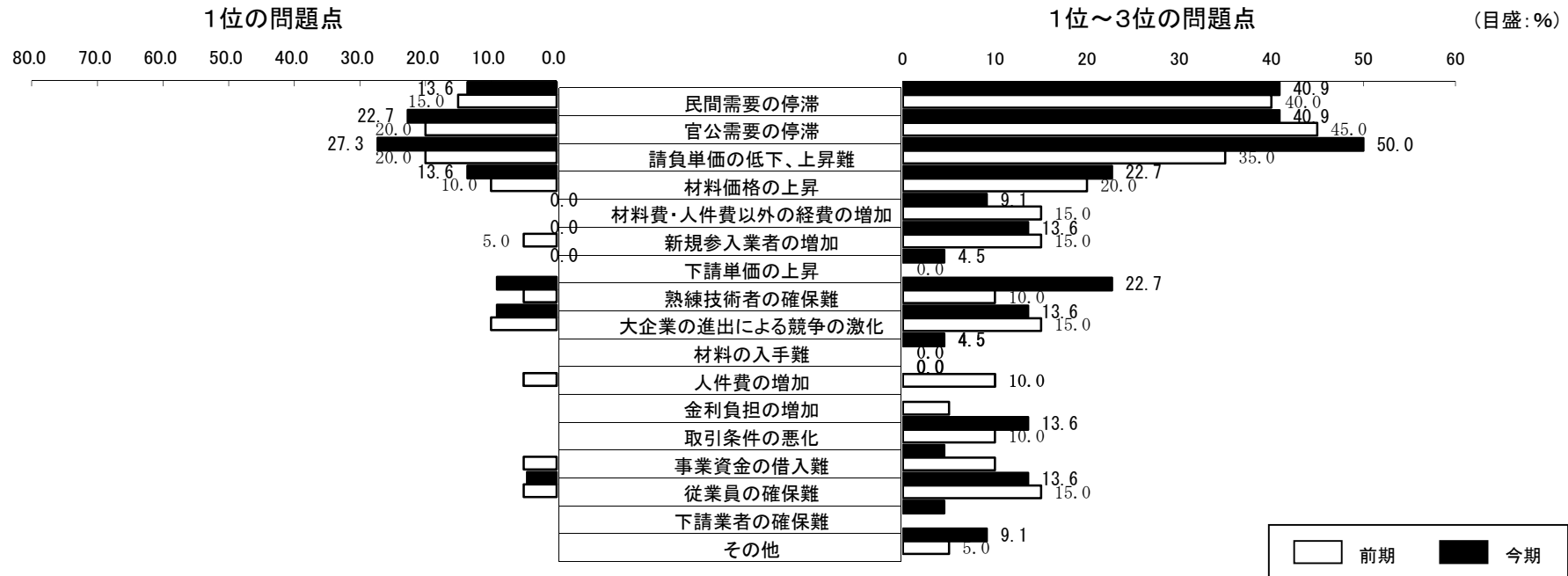


# 建設業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 小売業の推移

## 売上高

<今 期>

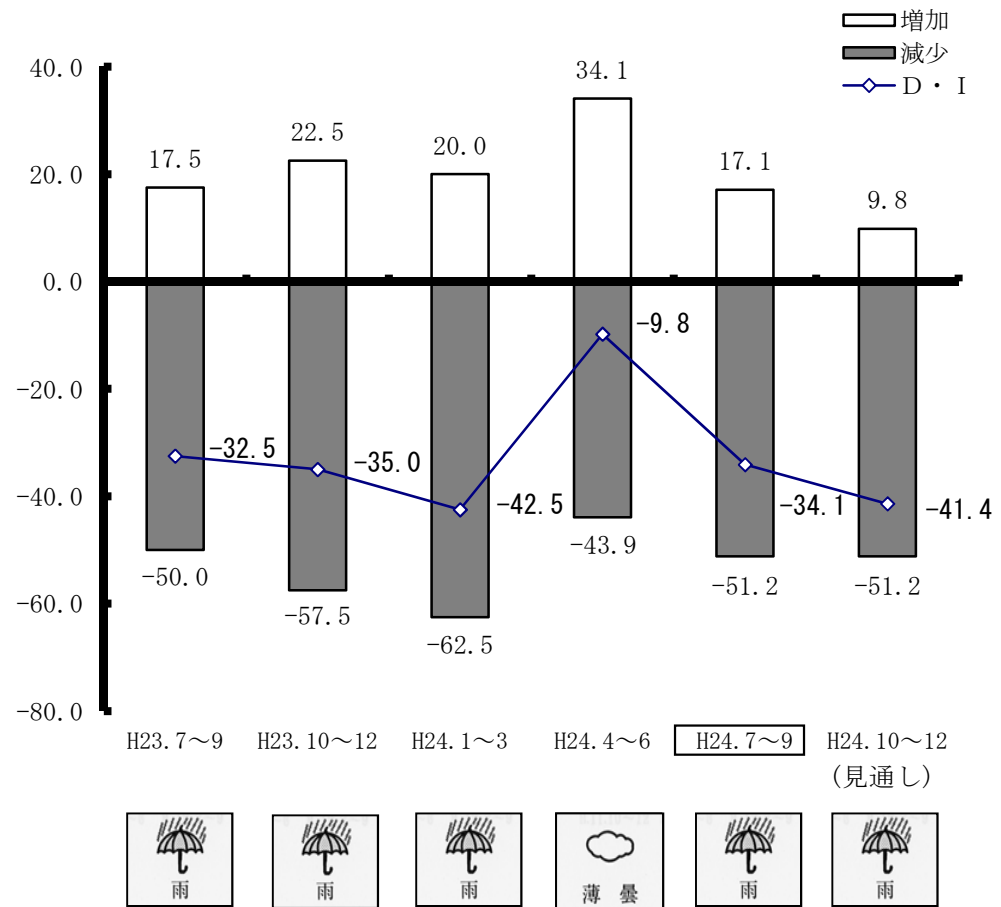


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業が17.0ポイント低下したほか、売上高減少企業が7.3ポイント低下したことにより、マイナス幅が24.3ポイント縮小し、△34.1となり、業況天気図も薄曇から雨に移行しています。

来期は、売上高増加予想企業がさらに低下するため、D・Iはマイナス幅を拡大し、△41.4となる見通しです。





# 小売業の推移

## 採算

<今 期>

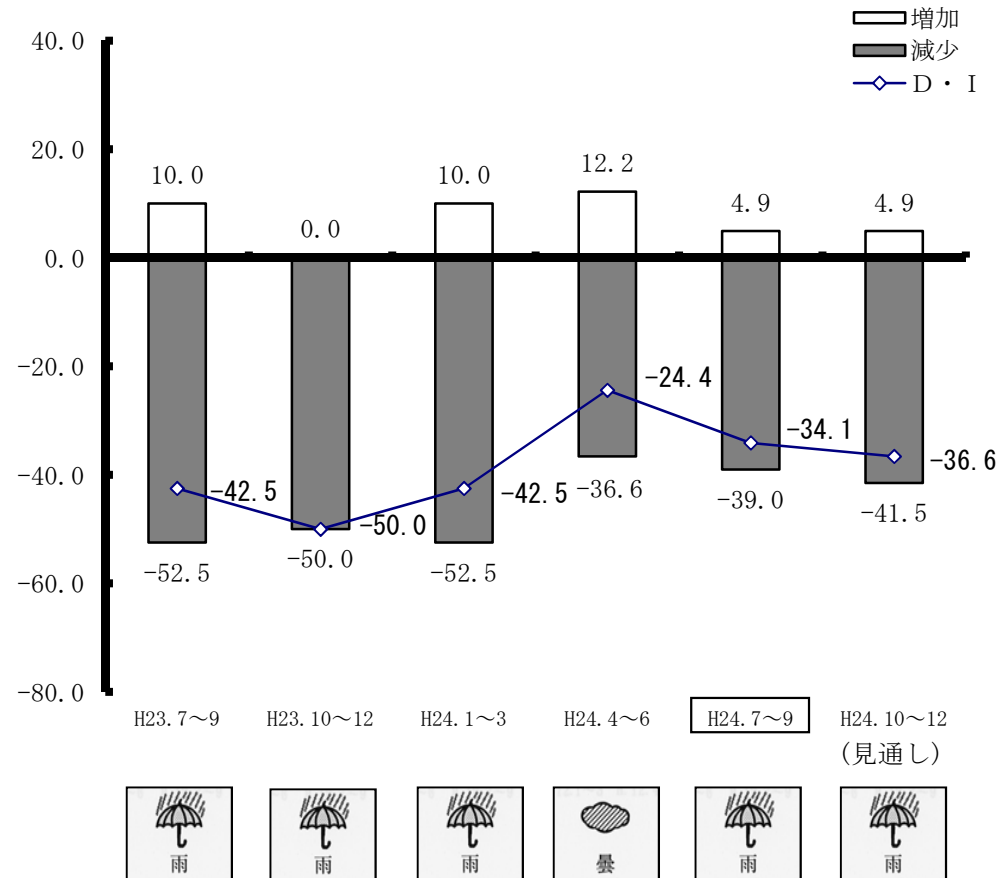


<来期見通し>



前期見通しでは、低いレベルでの横ばいが予想されていましたが、実際は、採算好転企業割合が増えたことにより、マイナス幅は9.7ポイント減少の△34.1となり、業況天気図も雨から曇に移行しています。

来期は、採算悪化企業がさらに増えることが予想されるため、採算D・Iが低下する見通しです

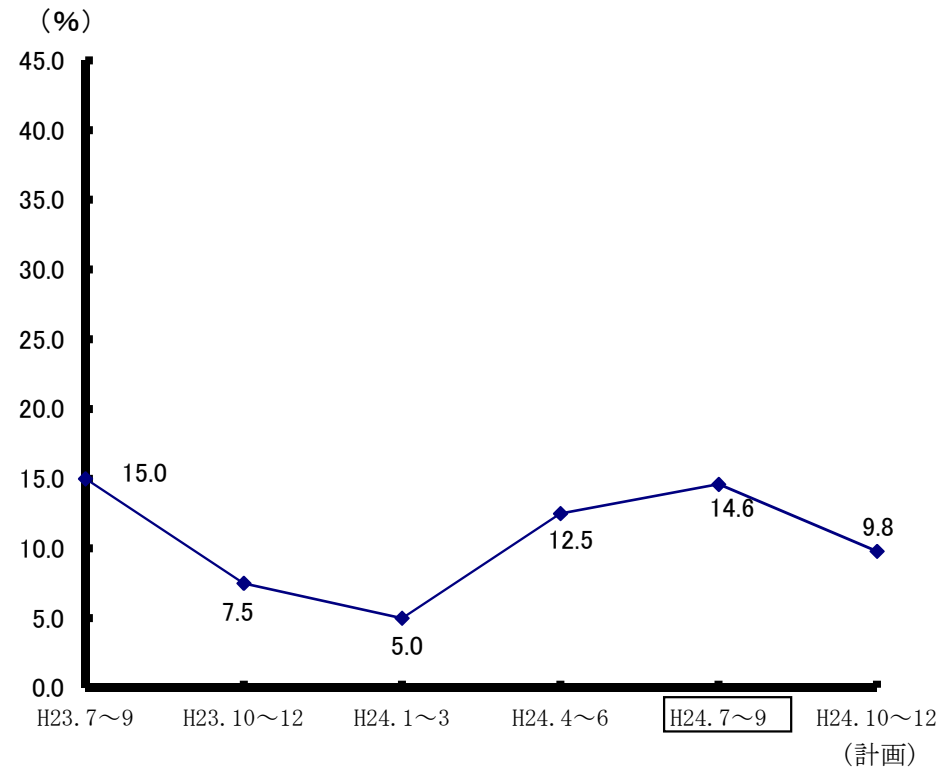


## 設備投資

前期見通しでは、設備投資を行う企業の割合が20.0%と予想されていましたが、実際に、設備投資が実施された企業は14.6%にとどまりましたが、。

来期は、設備投資を計画している企業が減少し、9.8%まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

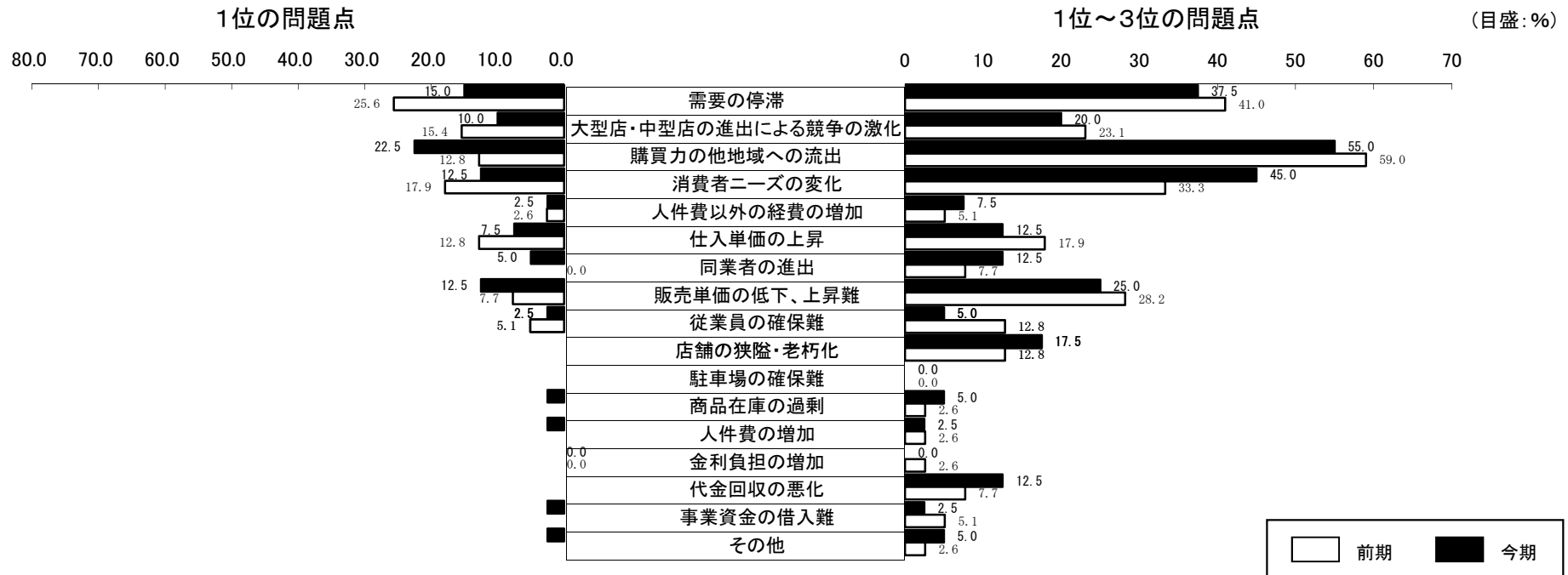


# 小売業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



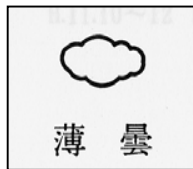
# サービス業の推移

## 売上高

<今 期>

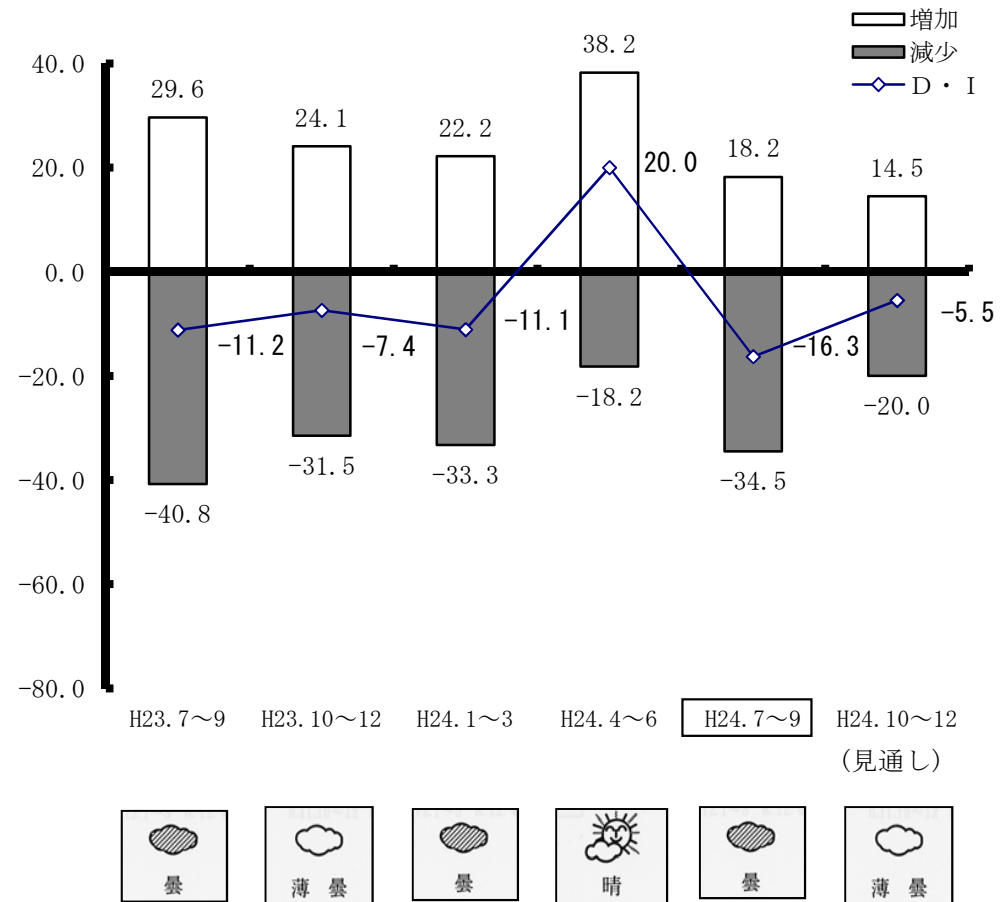


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の減少と、売上高減少企業の増加によって、採算D・Iは、△16.3となり再びマイナス水準に推移、業況天気図が晴から曇へと移行しました。

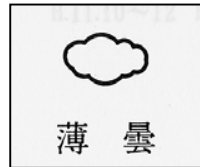
来期は、売上高減少を予想する企業割合が大幅に減少する結果、売上高D・Iは10.8ポイント上昇の△5.5となり、改善が見込まれる見通しです。



# サービス業の推移

## 採算

<今 期>

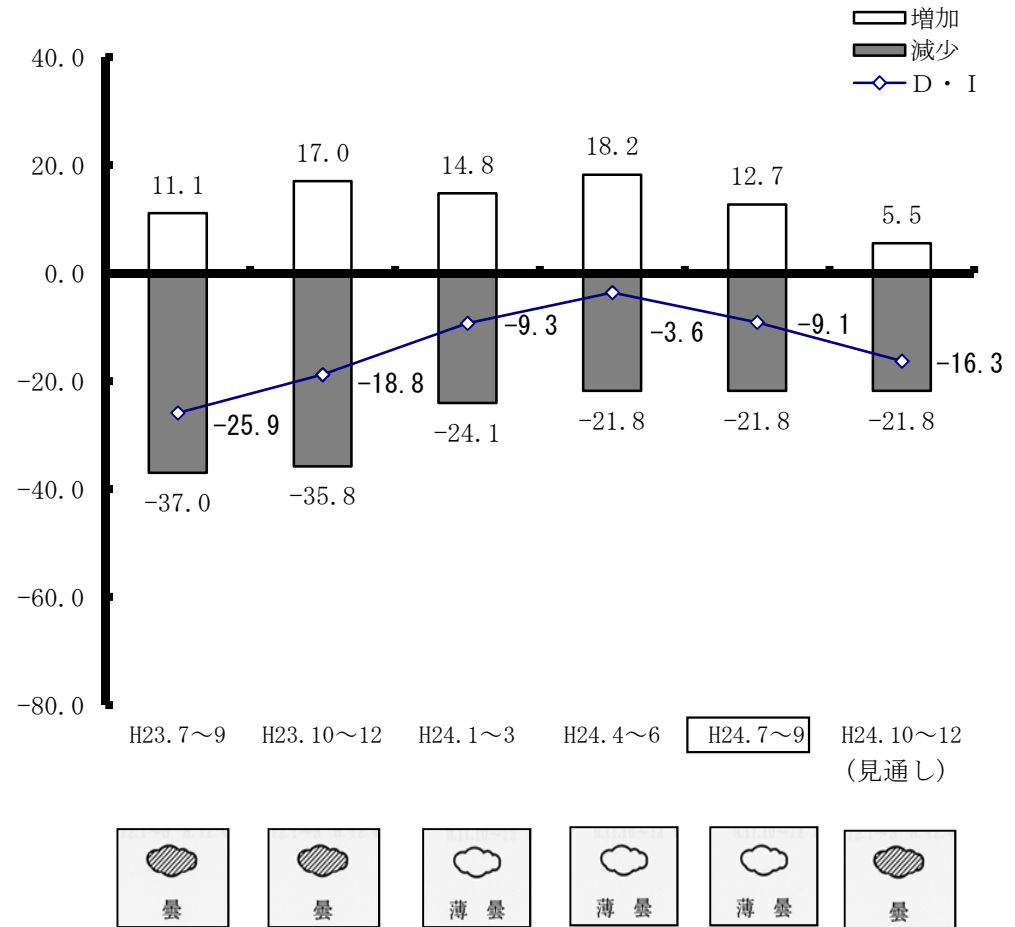


<来期見通し>



今期は、悪化企業が前期と同水準となりましたが、採算増加企業が減少したことにより、5.5ポイント減少の△9.1となり、マイナス幅が拡大しました。

来期は、採算の好転を予想する企業がさらに低下することによって、△16.3とマイナス幅が拡大し、業況天気図も薄曇から曇への移行が予想されています。

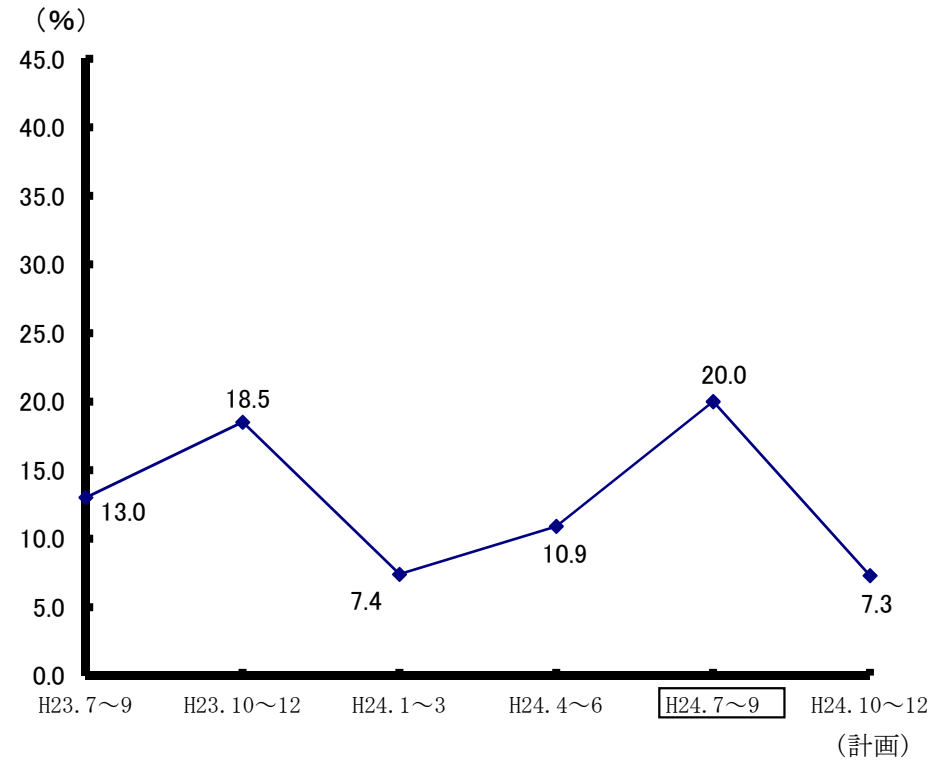


## 設備投資

前期見通しでは、設備投資実施企業は減少すると予想されていましたが、実際は、20.0%と大幅に増加しました。

来期は、設備投資を実施する企業が減少し、7.3%の企業において設備投資を行う見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



# サービス業の推移

## 経営上の問題点

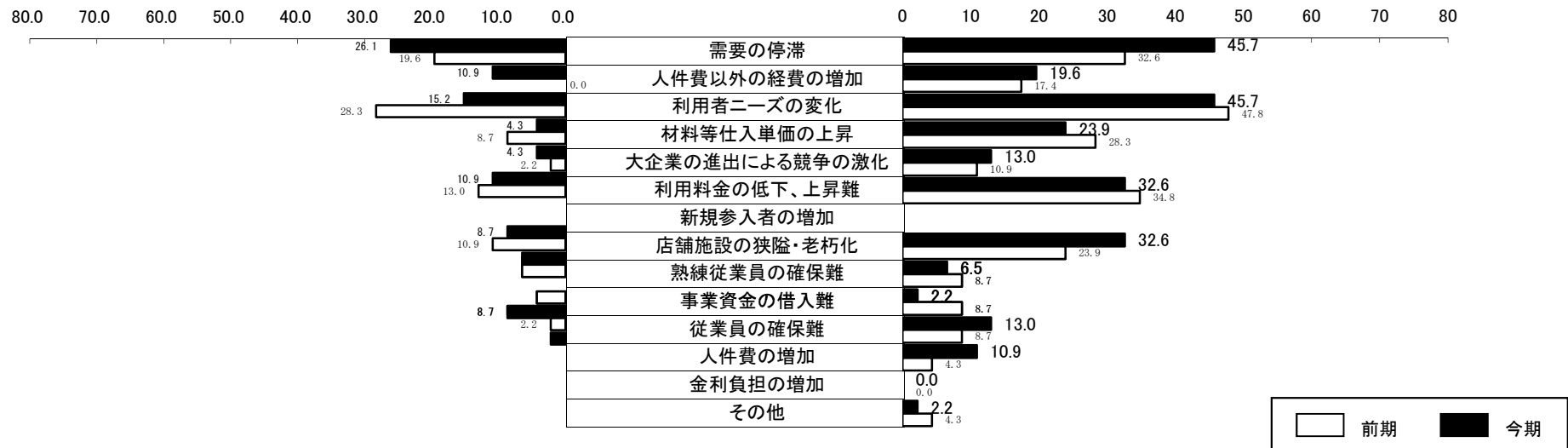
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

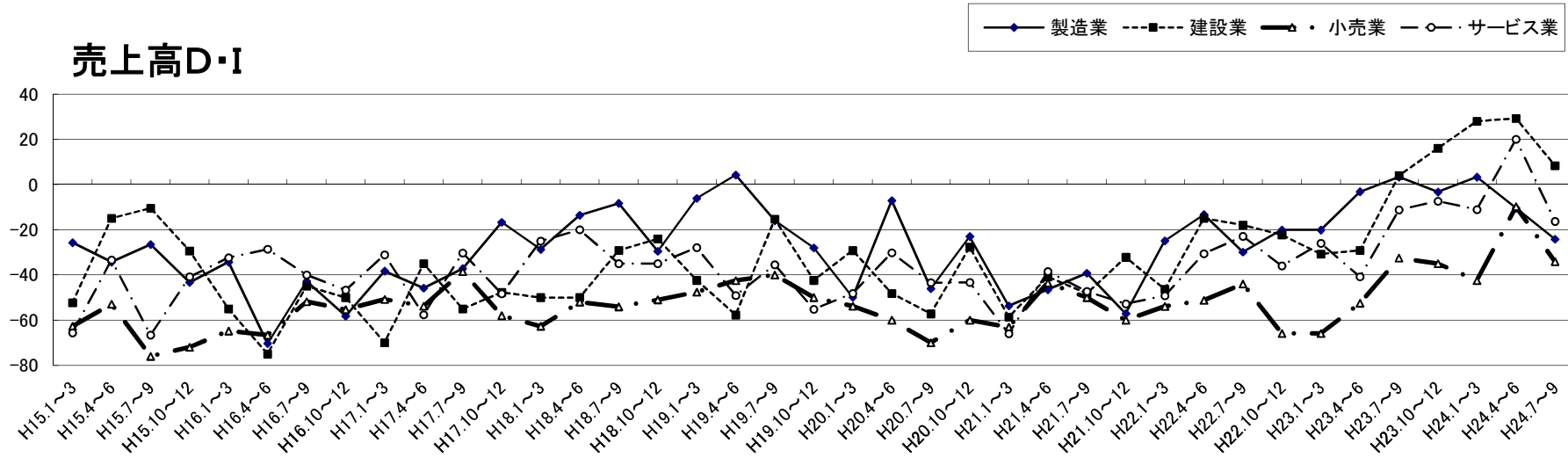
1位~3位の問題点

(目盛: %)

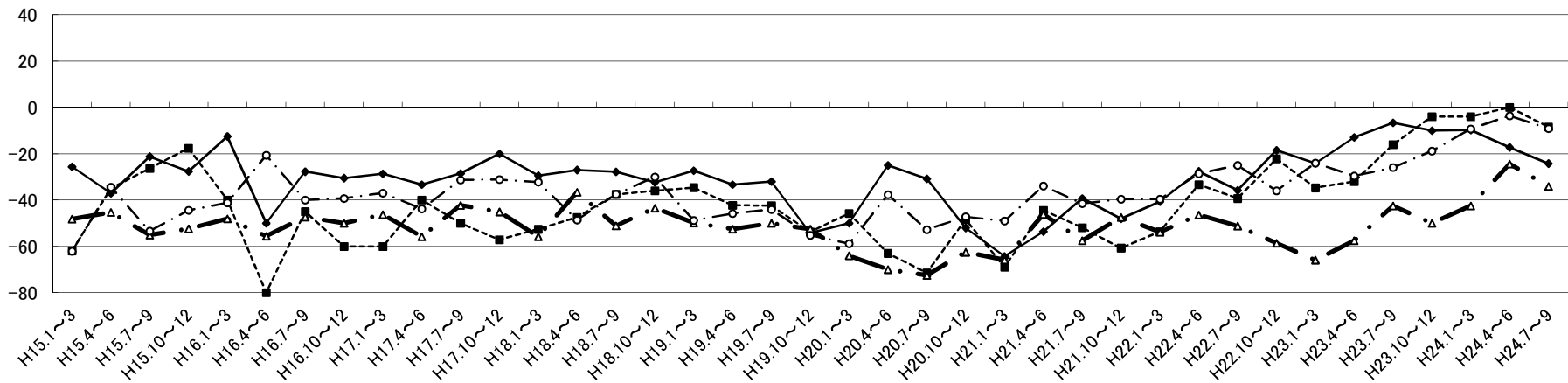


# 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

## 売上高D・I



## 採算D・I





# 集 計 資 料

# 調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、葛巻町、紫波町、西和賀、金ヶ崎町  
(商工会名) 平泉、田野畑村、普代、洋野町、一戸町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 149 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成24年7月～9月を対象とし、調査時点は平成24年9月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。  
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

## 4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 ( % )
製造業 (地域産業)		29 ( 19.3 )	29 ( 19.5 )	100.0
建設業		24 ( 16.0 )	24 ( 16.1 )	100.0
小売業		42 ( 28.0 )	41 ( 27.5 )	97.6
サービス業		55 ( 36.7 )	55 ( 36.9 )	100.0
		150 ( 100.0 )	149 ( 100.0 )	99.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。